

# 「安平町図鑑」撮影・編集 地域おこし協力隊

福津 京子

札幌市出身。

平成9年に札幌のFM局でラジオパーソナリティとして活動を始めた福津さんは、温かみのある丁寧な語り口で多くのリスナーから親しまれ、その後は放送局長として番組づくりにも携わるなど、幅広い世代にメッセージを届けてきました。

平成24年に独立し、札幌で暮らす人々の生き方を紹介する「札幌人図鑑」を配信。

年齢や職業を問わず多くの方を取材し、これまでに2,000人以上のインタビューを実施。地域の魅力を掘り起こし「人を通してまちを伝える」活動を続けてきました。

令和7年からは安平町に移住して、地域おこし協力隊「創業実践者」として着任。

町内でも新たに「安平町図鑑」をスタートさせ、町で暮らす人々の思いや生き方を丁寧に紹介するなど、これまで培ってきた経験を生かし、町の魅力発信や関係人口の拡大に取り組んでいます。

今回の特集では「安平町図鑑」についてインタビュー形式でご紹介します。

## 「安平町図鑑」を始めたきっかけ

「札幌人図鑑」に取り組む中で、本当に多くの魅力ある人たちがいることを実感してきました。また、人を紹介すると、その縁がさらに新しい出会いを生み、活動が広がるということも。

2,000人という節目で「札幌人図鑑」を終えたとき「自分を知らない力の発信にチャレンジしてみたい」と思い「安平町図鑑」を始めました。

## なぜ「図鑑」という形に

町内でも新たに「安平町図鑑」をスタートさせ、町で暮らす人々の思いや生き方を丁寧に紹介するなど、これまで培ってきた経験を生かし、町の魅力発信や関係人口の拡大に取り組んでいます。

今回の特集では「安平町図鑑」についてインタビュー形式でご紹介します。

ラジオは本音を引き出せる素敵なメディアですが「録音を残して人に届けることができない」というもどかしさがあり、ラジオの次はアーカイブで残せる形と決め、動画配信として始めたのが「札幌人図鑑」でした。

## 取材で大切にしていること

事前の打ち合わせで共通認識を図ることはもちろんですが、その人の「過去、現在、未来」と「原体験」を聞くことを大切にしています。

## 今後の展望

「取材した方々の思い」「人材募集など」を町民の皆さんへメッセージを伝えています。これまで新たに「安平町図鑑」を始めたところは立派に見える方にも大変だった時期があり、その背景を知ることで、見る人に元気や勇気を届けられるのでほど。

劇的に効果がある「カンフル剤」ではなく、毎日触れることで、少しづつ前向きになれる「漢方型メディア」のような、そんなメディアとなることを目指しています。

## 町民の皆さんへメッセージ

これまで小学生から高齢者まで、さまざまな方にインタビューしてきました。その人の人生や大切にしていること、原体験や経験は、立場の違う人から見ると新鮮で、そこからアイデアをもらえることもあります。取材の際は「あなたが大切にしていること

現までの経験を生かし、このまちで地域や活動の価値を広められる取り組みにしていきたいと思っています。

京都の研究者が1年間行っていた、研究者を毎日紹介する「研究者図鑑」などを見たときに、その魅力に惹かれて、自分たちの町の魅力を発信する機会を作りたいです。

今は動画の投稿数が少なくとも、少しずつ積み重なれば、町内の人だけがいると思っていました。

「長く続けてきたこと」「そうした取り組みを支えてきた原体験」などをお聴かせてください。あなたの話が、動画を見た方に元気を届けます。

